

診療報酬改定研究会を開催

“OECD並み医療費” 公約どこへ



淡路支部は3月24日に淡路市内で、診療報酬改定研究会を淡路医師会と共催。医療機関から153人が参加した。(写真左から)村野謙一先生、児玉和也先生、高橋雅彦先生が講師を務めた。粟田哲司先生が司会進行し、高田裕先生が閉会挨拶を行った。また、橋田友孝先生が情勢報告とともに患者負担軽減署名を訴え、187筆が集まった。

2012.4.25
@No. 281

兵庫県保険医協会
淡路支部

Let's...

Let's...

陰制度（点数・突合）、薬価の改定、
日母手帳の改訂に
始まつたところ
へ、爆弾低気圧の
日本綻断と、文字
通り激動の四月。
そして選舉、日医会長（交
代）、ミヤンマー（スー・チー
氏登場）、韓国総選挙…
その他列記すれば、

こんな中で国会はモタモタ。消費税・原発・東電関電問題で全く進展しない（国民新党の龟井氏除名、鳩山元総理の要らんイラン訪問といふエピソード入り）。

そして最後最大は北朝鮮の情勢・ミサイルだが…。
これぞれに説明は不要で

それぞれに説明は不要で
しよう。新聞・週刊誌・TV
などで有識者の論評を比較す
れば面白いのだが、最近そこ
までの体力はありません。諸
先生方よろしく。

最後に、五月は支部総会に
加えて東京スカイツリー、ロ
ンドンオリンピックの聖火リ
レー開始と話題豊富！

北朝鮮の打ち上げは失敗。当初から見せかけにして、自

分は経費節約、日韓米には四
日間多く浪費させ、国民に十
五日に特配とすれば一石三鳥
という手もあつたのでは…。

熊本市政令指定市等々

—兵庫県保険医協会—

第34回淡路支部総会

日 時 5月26日(土) 15時~

会 場 洲本市健康福祉館 3F(洲本市応急診療所の建物)

記念講演

福島原発事故を経て今、 臨床医に求められるもの(仮)

講 師 郷地秀夫先生 兵庫県保険医協会副理事長、
東神戸診療所所長

時 間 15時40分~ 参加費 無料

私たちは、今、福島原発事故という初めての経験をしている。それは、広島・長崎の原爆被爆とは異なり、チェルノブイリ事故の被曝形態とも違う。しかし、残念ながら、いずれも放出された放射線の核種と量が明らかにされていないし、正確な被曝形態や被曝量も分かっていない。そのような状況だからこそ、私たちは被災者に起こっている健康障害を先入観なしで“診守り”、書き留めておくことが求められている。

福島原発事故による放射線汚染の中で共に生きている日本の医師として、臨床医として、できることは何か? すべきことは何か? 私は以下の二つの行動を提唱したい。

①福島原発で放出された放射性物質をイメージング・プレート(あるいはレントゲンフィルム)に残しておく。②自分たちの府県に避難してきている人たちの健康管理、健診に取り組む。【郷地 記】

お問い合わせは、TEL 078-393-1807 事務局:楠(くすのき)、西尾まで

(切り取らずにご返信いただいて結構です)

淡路支部第34回総会(5/26)出欠確認

■支部総会/記念講演に ①ご出席 ()人 ②都合がつけば()人

■懇親会に ①ご出席 ②ご欠席 ※いずれかに○

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ お名前 _____ 様